

市民科に軍配を

校長 藤 森 克 彦

「僕なんかが優勝していいんでしょうか」。記録づくめの初優勝で一躍、時の人となった徳勝龍関のインタビューが話題となりました。ファンの心に強く刺さったのは、笑い涙があふれた優勝インタビュー。場所中に優勝は意識していないと言っていたのはウソだったのかの問いに、まさかの「…ウソです。めっちゃ意識していました。ばりばりインタビューの練習をしていました」とあっさり。そんな力士の姿を想像するだけで思わず顔が緩んでしまいます。

最近、スポーツ選手が活躍したときのインタビューに多いのが「夢をもてば夢はかなう」類のコメント。学校でも一時期「夢はかなう…」がだいぶ聞かれましたが、夢をもつことが目的化されてしまったり、地道に努力することよりも夢をもつことが優先となってしまったりしているような感がありました。夢をもつこと自体否定するつもりは全くありませんが、学校生活の多くは毎日同じことの繰り返しで、一つ一つ目の前のことをコツコツと丁寧にやり遂げる。その結果が夢を達成していくための土台をつくり、さらにそれがいつか成果として現れるというアプローチの仕方を大事にしてきました。今回の徳勝龍関の優勝も、コツコツと努力を積み重ねてきた故の結果であり、何よりもそこに軍配が上がったことはうれしいことです。

さて、先日の市民科授業地区公開講座の公開では、各学年学級での市民科の授業を参観していただきました。また、そのあとの副校長の講演会にも多数ご参加いただきありがとうございました。品川区では区独自に新しい学習として市民科を行っています。これは従来行われていた道德の時間、特別活動（学級活動）、総合的な学習の時間の三つを合わせ、社会に出たときに必要な資質能力の習得をめざしてテーマ（題材）を設定し、ある程度まとまった時間をとりながら考えを深めたり実際にやってみたりして学んでいくものです。

一昔前までは、子どもたちは社会の中で自然といろいろな人とかかわり様々な体験を通してその力をつけてきました。しかし、日本の経済成長以降、子どもたちの取り巻く環境や生活習慣などの変化により、社会（世間）の中で育てていくという時間や場が極端に少なくなっています。そうした時代の中で、子どもたちに「自分も社会の一員であるという認識」と「社会の中で通用するための価値ある実践力や行動力」をしっかり育てていくことが一層求められており、今まで以上に義務教育段階で何かできないかと考えたのが市民科です。

品川区が市民科をスタートさせて15年目に入りますが、市民科によって子どもたちへの成果が現れているかどうかは直接比較できないこともあり、難しいところです。しかし、手前味噌ではありますが、市民科にしたことで教員は子どもたちに身に付けさせたい力（15の資質能力）を意識し、子どもたちの心にいかに響かせ行動力につなげていくかを考えるとともに、何か+αとして用意できるものはないか、専門家や地域・保護者の方のお力をお借りできないかなど、できるだけ工夫した授業をするようになってきたと思います。そんなこと企業では当たり前のことだと思われそうですが、変わろうと思ってもなかなか変わらないでいる教育界では大きなことです。

これからの社会で活躍していくためには、当然学力（意欲・思考力・技能・知識など）をしっかり身に付けることが大切ですが、これからも子どもたちの活躍できる出番と役割をできるだけたくさん作りながら、市民科で求めていく社会的行動力の基礎をさらに育んでいきたいと思っています。

1・2年 おもちゃで交流

2年担任 清原 睦美

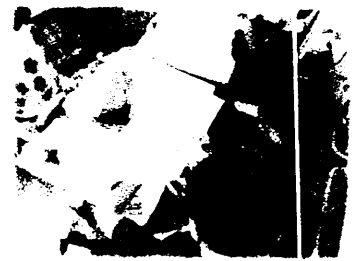
12月から2月にかけて、「おもちゃ作り」を通して交流します。一つは、個人での交流です。2年生が説明書や材料を準備しておもちゃの作り方を1年生に教え、できたおもちゃで一緒に遊びます。二つ目は、グループでおもちゃのお店屋さんを開き、1年生を招待



して遊びます。1年間、さまざまな場面で交流してきました。

1年生はすっかり学校生活に慣れ、2年生ともよく話すようになって

います。下級生を見る2年生の表情は柔らかく、1年間の成長を感じることが出来ます。2学年で交流することが多いこの時期を大切に、思いやりの気持ちを育てていきたいと思



ます。1年生が来年同じように、次の1年生に接する手本となるように、2年生は緊張感をもって張り切っています。

国際協力委員会 たまごプロジェクト

3年担任 橋田 ひかり

国際協力委員会では、世界の国々のことを知り、自分たちにできることを考え、活動しています。1学期には、世界の国々について調べ、素晴らしい景色や名所があることを知った一方で、戦争と平和、教育格差の課題について知りました。

そこで、2学期には、ユニクロの「服の子カラプロジェクト」に取り組みました。皆様のご協力で、難民の子どもたちのために、大きな段ボールにぎっしり20箱の洋服を集めることができました。また、ユニセフ募金の呼びかけでは、78,977円を送ることができました。皆さんの温かなご協力に感謝します。ありがとうございました。

3学期は、ネパールの山間部の子どもたちについて、ネパール政府公式通訳者のジギャン クマル タパさんをお招きして話をうかがいました。カトマンズなどの都市部は豊かな生活を送っていますが、村落部では環境が大きく異なり、厳しい生活を強いられているそうです。住環境、食生活、教育など、本校の子どもたちとの大きな違いに、みんな驚いた様子で話を聞いていました。このネパールの子どもたちを栄養不良から救うために、学校給食を作ろうと活動しているのがジギャンさんです。様々な苦勞の末、現在では週に1回、ゆでたまごを給食として出せるようになりました。これが「たまごプロジェクト」です。国際協力委員会では、これからどのように「たまごプロジェクト」を応援するか考えたり、ネパールの子と手紙で交流をしたりする計画を立てています。国際協力委員会の活動から、本校の子どもたちが少しでも世界の国々について知ったり、力を合わせようと考えたりするきっかけになってくれたら嬉しいです。

体育部 マラソン週間

運動行事委員会 中村 香織

1月は、全校で持久走に取り組みました。体育朝会では、腕を大きく振ることや、自分に合った呼吸をすること等、走り方について確認しました。運動委員会作成のマラソンカードを使って、休み時間や体育の授業などで挑戦しました。火曜日と木曜日は、全校で3分間走も行いました。

クラスで目標を決めて取り組んでいるクラスもあり、一人では成し得ないこともみんなで挑戦すると達成できることを学びました。

全校朝会では、校長先生の講話の中で、「勝つ」と「克つ」の違いについての話がありました。寒くて外に出ることもいやだと思える日もあられるかもしれませんが、マラソンを通して、速さを競うだけでなく、自分の弱い心に打ち克とうと頑張る気持ちを育てていきたいです。

6年 租税教室

6年担任 川口 祐一

品川税理士会より、税理士の方をゲストティーチャーにお迎えして、「租税教室」を実施しています。3学期の社会科で、政治や国の仕組みについての学習を進めてはいますが、子どもたちにとって「税金」は（消費税は別かもしれませんが）、あまり身近なものでありません。今回の学習では、まず「税」の種類やその使い方について講義をしていただきました。その後、税の仕組みを知る学習として、クラスを一つの国に見立て、班を村と考える活動しました。国に必要なものを建設するために、各村からどのように税金を集めればよいのかを話し合っ決めていくというもので、班ごとに様々な意見が出されました。子どもたちから出された意見が、実際の税金の集め方にも採用されていることが発表されると、驚いている子がたくさんいました。

実際に納税するのはまだ先の話ですが、今回の授業をきっかけとして、「税金」というものに少しでも関心を持ち、将来的には「賢い納税者」として育ててほしいと思います。



4年 東京グローバルゲートウェイ

4年担任 中村 香織

1月21日に4年生は東京江東区にある東京グローバルゲートウェイ(TGG)という東京英語村で、英語だけの世界を体験してきました。TGGの様々なプログラムを体験することを通して英語に親しむこと、日本との文化の違いに気づき、外国の文化を理解することがめあてでした。最初に自己紹介をしたときには、恥ずかしそうにしている子もいましたが、TGGのスタッフと打ち解け、身振り手振りをしながら話しているうちに笑顔が見られるようになりました。また、アトラクションエリアでは、ミッションカードを使って、海外で遭遇しうる具体的な場面の英語のやりとりに挑戦しました。機内やレストラン、ホテルなど実際にその場にいるような雰囲気、英会話を実践し、「英語が好きになった」と喜んでいる姿が見られました。子どもたちの感想には、「今年はオリンピックがあるので、海外から来るお客さんに英語で挨拶してみたい」「英語はよくわからなかったけど、ジェスチャーで伝えようとしたら伝わったので、気持ちが大事だと思いました。」とありました。これからも「伝えよう」という気持ちを大切に、将来はグローバル社会で活躍していける子になってほしいです。



2年 自転車安全教室

2年担任 長澤 美寿々

1月29日は、大井警察署の方が来てくださり、体育館で自転車安全教室が行われました。実際の自転車を見ながら、点検では、「ぶたは、しゃべる」という言葉を覚えるといいことを教わりました。「**フ**レーキ、**タ**イヤ、**ハ**ンドル、**シ**ヤタイ(車体)、**ベ**ル」点検する箇所をつなげた言葉だそうで、点検する箇所や自転車の点検をすることの大切さを勉強しま

した。また、DVDを使って、自転車の安全な乗り方についてもお話を伺いました。そして、自分の命を守るためにヘルメットの着用を忘れないことを改めて学びました。自転車は便利な乗り物ですが、ルールを守らないと危険な乗り物にもなってしまいます。品川区では、2年生までは保護者同行のもと、自転車に乗ることになっています。ご家庭でも自転車の乗り方について話題にしていきたいと思います。





年間重点生活目標「正しい姿勢を意識して生活しましょう！」

今月の生活目標

生活のめあて

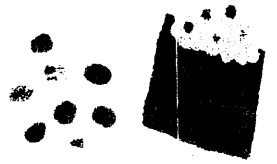
静かに歩きましょう

保健のめあて

うがい・手洗いをしましょう

給食のめあて

食事のマナーを考えて食べましょう



の行事予定

※今月は予告なしの避難訓練を実施します。

日付	曜	主な行事	日付	曜	主な行事
1	土	安全指導 いのちの授業 (副島先生講演会4・5年) ニジェル国際理解授業 (5年)	15	土	スチューデント・シティ (5年) セーフティ教室 (2、6年)
2	日		16	日	
3	月	全校朝会	17	月	全校朝会
4	火		18	火	体育朝会 読書週間始
5	水	フレンドタイム	19	水	
6	木	緑の家保育園交流 (1年)	20	木	6年生を送る会 お別れ給食
7	金	委員会	21	金	集会
8	土	PTA 役員会・実行委員会・店長会議	22	土	
9	日		23	日	天皇誕生日
10	月	全校朝会	24	月	振替休業日
11	火	建国記念の日	25	火	3校合同市民科 (6年)
12	水	出前選挙授業 (6年)	26	水	品川教育の日 剣道教室 (5・6年)
13	木	新1年生保護者会 (14:00)	27	木	保護者会 (5・6年) 読書週間終
14	金	音楽朝会 滝王子保育園交流 (1年) クラブ	28	金	集会 委員会 剣道教室 (5・6年)
			29	土	PTA大まつり (13:30)

資源回収 2月14日
 エコキャップ回収 2月12日
 校庭解放 2月 9日 16日

生活指導部より～うがい・手洗いをしましょう～

生活指導部 轟 麻美

2月の生活のめあては、「うがい・手洗いをしましょう」です。インフルエンザにとって、うがい・手洗いは大切な予防策とされています。空気が乾燥しているこの時期、暖房による乾燥の対策としても、校内の各教室で加湿器をつけたり、授業の合間などにこまめに窓を開けて空気の入替えをしたりして心がけています。そして、中休みや昼休みの時間が終了し、校庭から戻ったら必ずうがい・手洗いをし、水を飲むように声をかけています。しかし、手洗いをした後にハンカチを持っていない子を見かけます。ハンカチを持っていないと、衛生上よくありません。自分、周りにいる友達への影響が考えられます。毎日ハンカチを忘れずに持ってきてきましょう。ご家庭でも帰ってきたときは、うがい・手洗いをしよう声かけをよろしく願いいたします。

リレーコラム「かかわる、創る」

5年担任 高橋 直之

毎日、私たちは様々な人とかかわっています。家族や友達、先生など多くの人とかかわって、生きています。人間は一人では生きてはいけません。そのことは十分よく分かっていますが、私は、人とかかわりをもつのが苦手でした。人と意見を合わせるのが面倒で、自分で自由に何かしたかったのかもしれませんが。小学生時代は、グループで新聞を作ったり、話し合ったりしたのですが、その活動も嫌だった記憶があります。しかし、いざ自分が教員になってみた時に、グループでの学習は友達の考えから自分の学びを深めるためにとっても必要なことだと分かりました。友達と話すことで、さらに新しいアイデアが浮かぶこともあります。

授業をしても、友達と生き生きと話し合う子どもたちの姿がよく見られます。私のように人とかかわることが苦手な人でも、これから、たくさんの人と出会います。一期一会を大切にして、かかわってみませんか。